

《必読》申込みにおける注意事項

1 参加競技・種目について

- (1) 複数競技に一種目ずつ申込みすることができる。
※フライングディスク競技のみ2種目エントリーを認める。
(アキュラシー、ディスタンス1種目ずつ選択可。申込しない場合は「なし」を選択)
- (2) 参加できる競技・種目・障害区分番号は<別表1>「全国障害者スポーツ大会競技・種目」をもとに決定する。
※表内に◎・○・△などの記号がない種目は申込不可。
※◎・○・△などの意味は、表の上部に意味が記載されている。
- (3) フライングディスク競技に区分番号はない。
(ディスタンスは『立位』もしくは『座位』の選択が必要。)
- (4) 区分番号は競技ごとに異なるので注意すること。例えば、聴覚障害の場合、陸上競技『26』、水泳競技『25』、アーチェリー競技『7』となる。

2 年齢について

- (1) 開催年の4月1日時点の年齢を記入。
- (2) 全国障害者スポーツ大会競技規則に則り、13歳以上の者の参加を基本とする。
※6歳以上12歳以下の者を令和6年度から「オープン参加」として認める。
出場可種目等は別途大会要綱に定める。

3 申込書の記入方法について

- (1) 氏名・ふりがな・年齢・補装具は手入力。年齢区分は操作不要。
- (2) 性別・障害区分・区分番号・競技種目・重複障害はプルダウン選択式。
- (3) 別途[第61回申込書 記入例]も合わせて確認すること。
- (4) 必ず今大会用の申込書を使用すること。※過去や他の様式では受け付けない。

4 補装具について

- (1) 日常での使用有無に関わらず、競技中に使用する補装具を記入すること。
歩行補助杖(杖、松葉杖、同2本、カナディアンクラッチ、同2本)や、伴走、車椅子(地面を蹴る/前向/後向/片手・両手駆動/電動車椅子)等を記入。
※陸上競走の競技・跳躍競技における杖、歩行器の使用は認めない。
- (2) 日常的に使用していても、競技中の使用がない場合は記入不要。当日変更不可。
※(例) 普段車いすを使用している選手だったので、フライングディスク競技のディスタンス(座位)に申込をした。しかし、大会当日に立って投げたいと要望。⇒ 変更不可。

5 その他

- (1) 入力欄が不足する場合は、シートを増やして良い。
- (2) 申込書は必ずメールに添付して提出すること。FAX、電話、写真での連絡は不可。